第24回田原市市民協働まちづくり会議 議事録要旨

1 日時	平成29年11月2日(木) 午後6時～8時
2 場所	田原市役所 政策会議室(南庁舎4階)
3 出席者	【委員】 三矢勝司(会長)、鈴木正三(副会長)、鋤柄美和子、鈴木俊博、酒井修、本多智映子、大河孝代、小澤美穂子、安田幸雄、鈴木照彦、石川恵史(欠席者無し) 【事務局】 企画課/大羽課長、河口課長補佐兼係長、内田主事補 総務課/増田課長、本多課長補佐兼係長、森下主事
4 議事録署名者	安田幸雄、鈴木照彦
5 会議事項	議題 (1) 田原市の市民協働まちづくり方針素案について

議題

(1) 田原市の市民協働まちづくり方針素案について

○事務局：資料1～資料6及び別添について説明

《質疑・意見》

- ・資料2の3ページ市民活動団体の取組のあり方で、「市民等との信頼を築く」が重複しているように思う。(委員等)
→重複の部分を削除させていただく。(事務局)
- ・記述中にSNSの活用を入れようというのがあるが現状はどうか。(委員等)
→市民活動支援センターでは、フェイスブックを始めた。また、市の広報ではインスタグラムを活用しており、写真について好評である。(事務局)
- ・SNSの特性に応じて使い分けるとよい。若い方からインターネットを使わないお年寄りまで、幅広い範囲に情報が伝わるとよい。(委員等)
- ・次に見直すのが10年先となると世間が相当かわってしまっているのではないか。(委員等)
→・地域コミュニティが崩壊しつつある。また、事業者の販売実績も少なくなっている。(委員等)
・社会情勢が極端に変わるようであれば、見直し時期についても変更する。(事務局)
- ・P9「(1) 基本的な姿勢」の「②合意形成にむけたルールへの順守」に違和感を覚える。合意形成をするには絶対的なルールがあって、それを守らなければ合意形成できないととらえられる。逆に、合意形成のためには建設的な意見をいただいて、その意見を検討して、そのルールについて合意形成をする方が良いのではないかと。現代の多様化する意見を取り込むのであれば大事なことではないかと思う。マナーという言葉に代えてはどうか。(委員等)
→「ルールの順守」は少々きつい言葉だった。マナーも含め検討させていただく。(事務局)
- ・第1章の(2)の「②地域コミュニティ活動の現状」に、地域コミュニティの厳しい状況をいれてはどうか。(委員等)

- ・先ほどのSNSの活用のところに、ケーブルテレビやラジオも入れてはどうか。(委員等)
→P3「市民活動団体の取組のあり方」の「活動PR・信頼性の向上」と、P5の「積極的な行政情報の公開」とを表現を統一する。(事務局)

決定事項

- 田原市の市民協働まちづくり方針案について、承認。ただし、意見を踏まえて字句及び表現修正を行う。

午後8時閉会